令和４年度

介護支援専門員実務研修（前期）

第７－② 章

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

アセスメント及びニーズの把握方法

補足資料

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

目　的

　アセスメント（課題分析）の意味とアセスメントシートの活用を振り返ることができる。

国際生活機能分類の理解と活用、特に背景因子（環境と個人）、ストレングスを見出す視点を持てる。

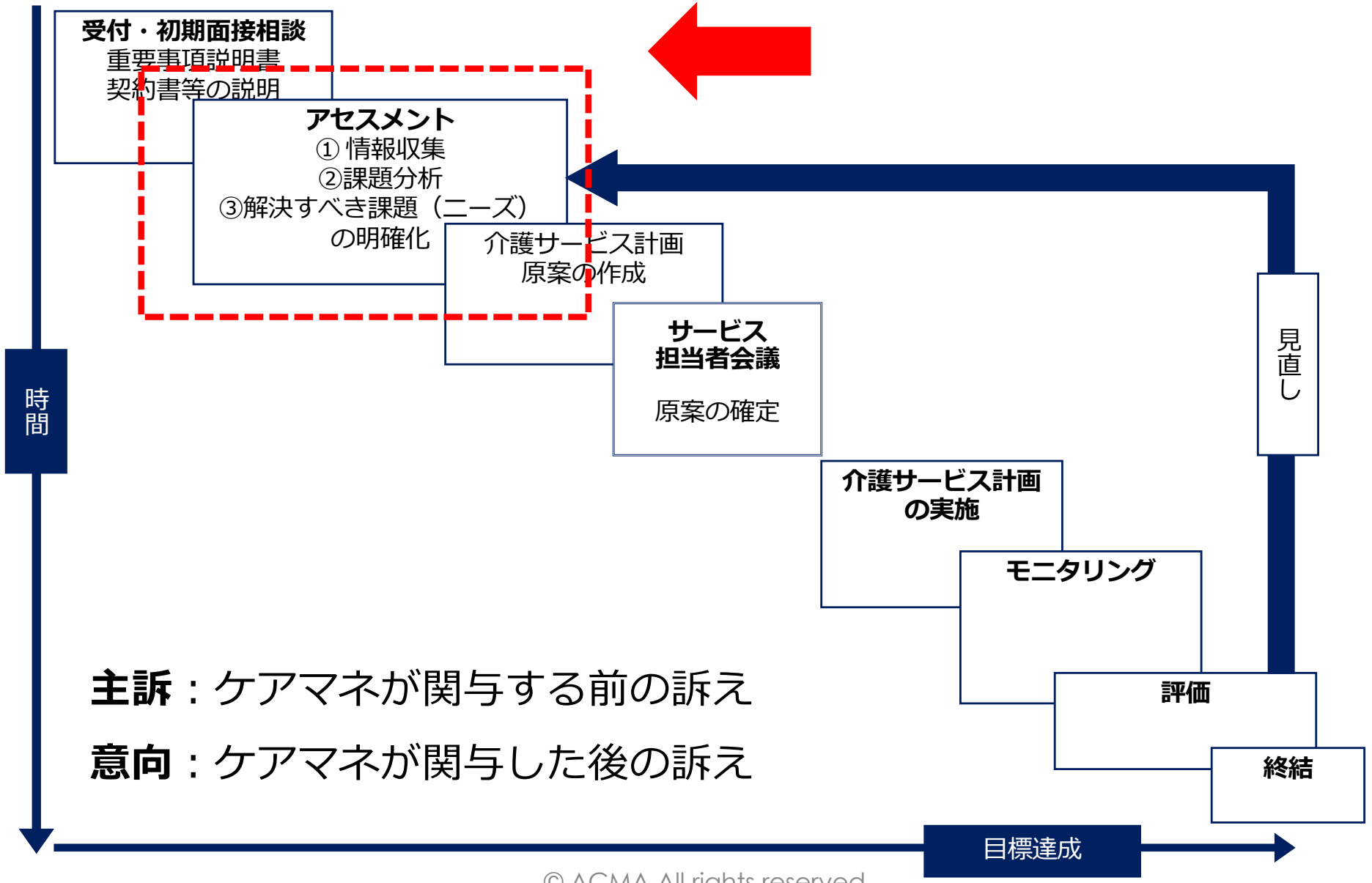
課題分析の結果である生活の目標の提案を意向の導き出しができる。その上で、行動変容に繋げられる。

自分自身のケアマネジメント実践の振り返り。

他者へ伝達できる。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

ケアマネジメントの全体像　アセスメント



主訴：ケアマネが関与する前の訴え

意向：ケアマネが関与した後の訴え

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントの意義・目的

①意義

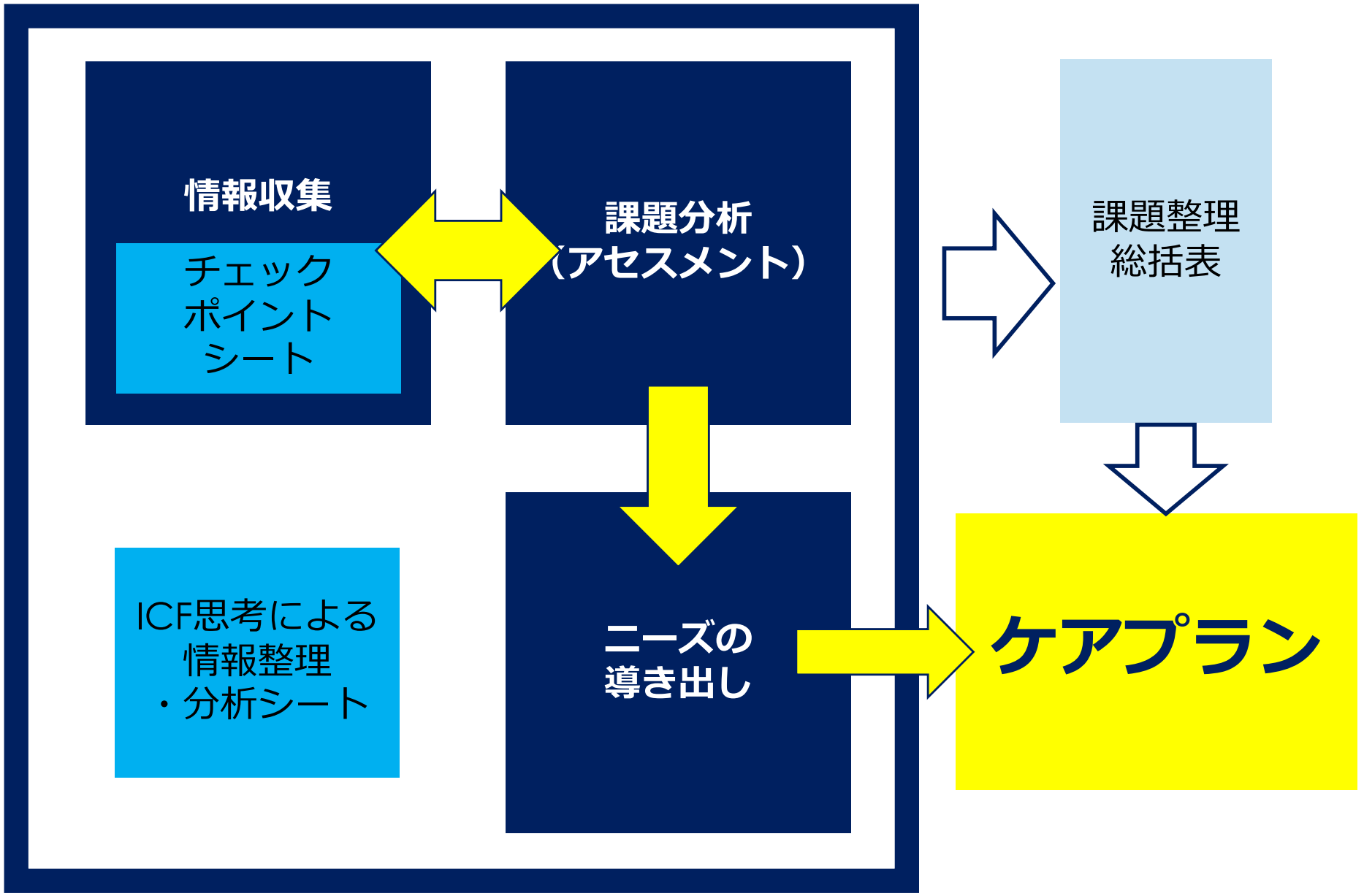
»情報を収集し、
»分析することにより、
»利用者にどのような支援を提供すれば良いかを導き出す

②目的

»インテークで得た客観的・主観的事実などの諸情報をもとに、
»利用者の置かれている状況を理解し、
»生活全般にわたる解決すべき課題（ニーズ）を把握していくこと

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメント　情報収集 ⇄ 課題分析 → ニーズの導き出し



© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

補助線

日常生活動作を分解

排泄

トイレへの移動 → 脱衣 → 排泄 → 後始末 → 着衣 → 手洗い
→ 居室等への移動

入浴

湯はり → 物品準備 → 脱衣 → 浴室への移動 → 入湯 →
洗髪・洗身 → 入湯 → 体を拭く → 着衣 →
浴室から居室への移動

移動

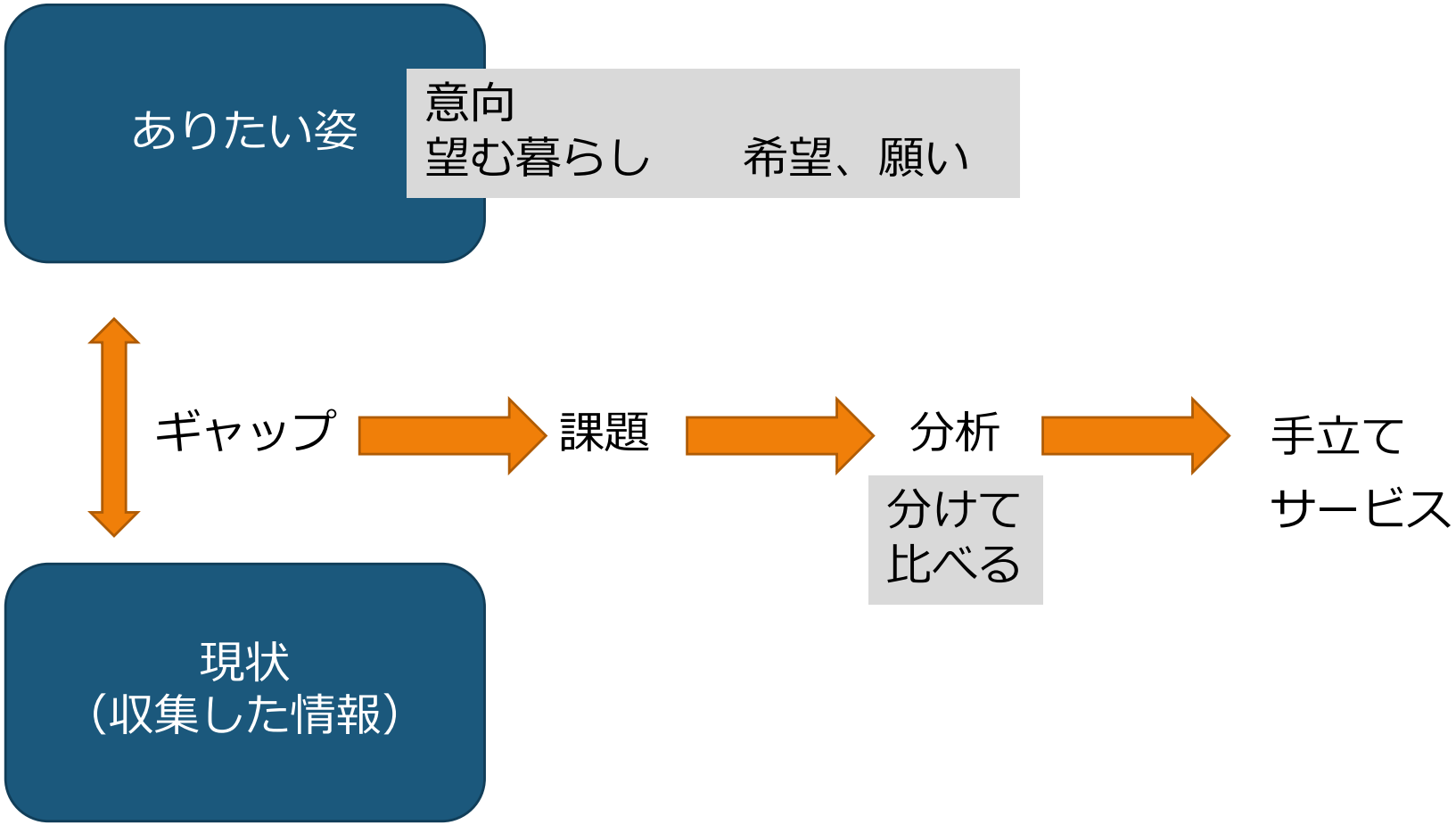
体位変換 → 起き上がり → 端坐位保持 → ブレーキ等の確認
→ 立ち上がり → 立位 → 移動

何が困りごとか　どこが流れを止めているのか

© ACMA All rights reserved.

補助線

課題のフレームワーク：現状とありたい姿のギャップ



© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程

（1）生活ニーズとは

利用者が生活を送る上で必要なもの

特に**利用者らしい生活の実現**に欠かせないもの（生活全般の解決すべき課題）困っている状態の解決する目標

課題分析標準項目を踏まえた生活ニーズの導き出し方

課題分析標準項目

利用者の身体機能的**状況**
↑↓
利用者の精神心理的**状況**
↑↓
利用者の社会環境的**状況**

→「生活を送るうえで**困っている状態**」

↓

「その状態」を**解決**する「目標・結果」

生活ニーズ

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程

（2）生活ニーズの記述方法

- 利用者、家族が「ニーズ」としてとらえ、自ら解決していくために、「〇〇できるようになりたい」「〇〇したい」と言うように、利用者が主体的・意欲的に取り組めるような表現が良い
- しかし、「したい」と記載できるのは、ご本人が明らかに意思表示したものについてのみ。それ以外は、「する」とか「できるようになる」と書いた方が良いでしょう。

ニーズの優先順位

①利用者が困っていると感じていること

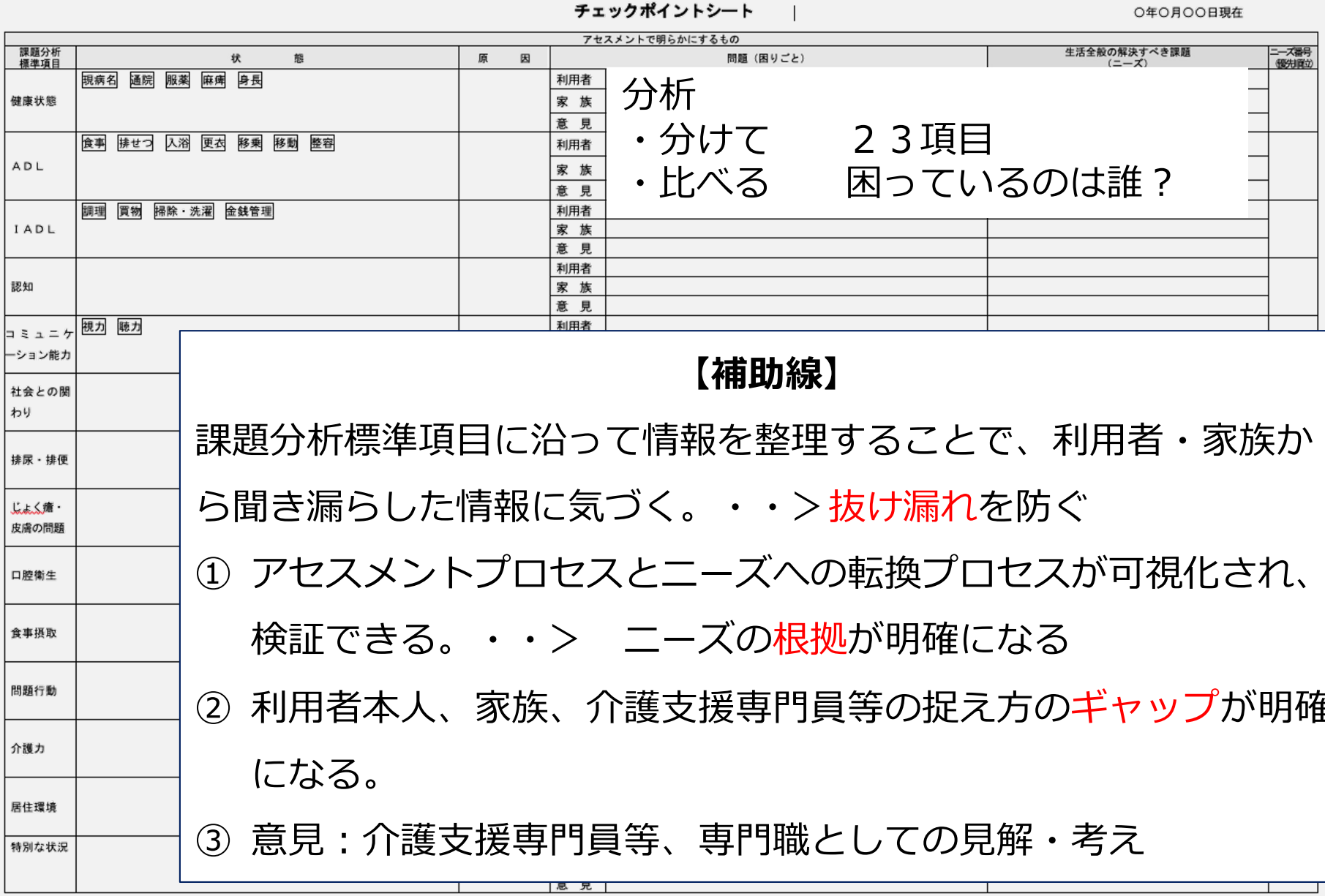
②悪循環を作り出すもとになっているもの

③最も効果が見込まれるもの、影響の大きいもの

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

補助線

アセスメントからニーズを導き出す思考過程



チェックポイントシート　|　○年○月○○日現在

アセスメントで明らかにするもの

課題分析標準項目	状態	原因	問題（困りごと）	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	ニーズ番号（優先順位）
健康状態	現病名 通院 服薬 麻痺 身長		利用者 家族 意見		
ADL	食事 排せつ 入浴 更衣 移乗 移動 整容		利用者 家族 意見		
IADL	調理 買物 掃除・洗濯 金銭管理		利用者 家族 意見		
認知			利用者 家族 意見		
コミュニケーション能力	視力 聴力		利用者		
社会との関わり					
排尿・排便					
じょく瘡・皮膚の問題					
口腔衛生					
食事摂取					
問題行動					
介護力					
居住環境					
特別な状況			意見		

分析
・分けて　　２３項目
・比べる　　困っているのは誰？

【補助線】

課題分析標準項目に沿って情報を整理することで、利用者・家族から聞き漏らした情報に気づく。・・＞抜け漏れを防ぐ

① アセスメントプロセスとニーズへの転換プロセスが可視化され、検証できる。・・＞　ニーズの根拠が明確になる

② 利用者本人、家族、介護支援専門員等の捉え方のギャップが明確になる。

③ 意見：介護支援専門員等、専門職としての見解・考え

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程

14:53:52 開始 男鹿市　佐藤哲彦 ：「課題」とは現状とあるべき姿とのギャップ

14:57:07 開始 男鹿市　佐藤哲彦 ：「意向」ありたい姿　　「現状」収集した情報

15:03:31 開始 男鹿市　佐藤哲彦 ：「分析」分ける　比べる　比較

15:28:25 開始 事務局 ：神谷花子さんのニーズ------

15:29:09 開始 17 11043 野田香緒里 ：薬の飲み忘れをなくしたい。

15:29:09 開始 11 11037 斉藤千秋 ：原因、問題の確認をするのみでニーズまでたどり着けませんでした

15:29:11 開始 5 11008 近藤誠子 ：痛みや痺れの軽減の為、毎日確実に薬を内服できるようにしたい。

15:29:15 開始 9 11083 村松裕太 ：段差の解消

15:29:18 開始 14 11016小熊菜緒子 ：健康状態

15:29:23 開始 16 11042 三浦達彦 ：趣味のお菓子作りや散歩がまた出来るようになりたい

15:29:26 開始 2 11050 浅利綾 ：トイレに行くときふらつく、との

15:29:26 開始 18 11044 茂木睦美 ：健康状態→痛みによる苦痛の軽減・栄養のある食事をとりたい。
社会との関わり→ハイキングや外との関りを持ちたい。

15:29:29 開始 20 11072 高橋育美 ：項目；排泄・排便

15:29:31 開始 18　11070 佐藤悠太郎 ：友人とハイキングをしたい

15:29:32 開始 9 11083 村松裕太 ：料理をしてみたい

15:29:33 開始 5 11053　佐藤　樹希也 ：薬の飲み忘れをなくしたい。

15:29:33 開始 4 11052 佐藤 恵太 ：健康状態に関して　体の痛みなく快適に生活したい

15:29:35 開始 19 11071 茂木佳祐 ：排泄→失敗せずに排泄を行う。

15:29:37 開始 9 11012武石成美 ：また料理がしたい。

15:29:38 開始 11 11060 大塚未来 ：規則正しい食事３食摂取

15:29:39 開始 3　11028風間直美 ：服薬管理

15:29:41 開始 4 11005　佐藤真実 ：毎日処方通りに内服することで痛みが軽減する。

15:29:45 開始 12 11035 土田泰大 ：ADLの移動面に対して、段差解消や手すりの設置

15:29:46 開始 9 11057 柴田 健 ：料理をしてみたい。

15:29:49 開始 5 11008 近藤誠子 ：バリアフリーにして段差を解消し手すりをつけて安全に移動したい。

15:29:50 開始 9 11083 村松裕太 ：薬の飲み忘れ

15:29:50 開始 6 11080 富樫 瑞紀 ：服薬管理

15:29:53 開始 13 11063 太田理佐 ：薬の飲み忘れがある。

15:29:58 開始 8 11009 小林雄司 ：薬の飲み忘れ：カレンダー式の容器

15:29:58 開始 18　11070 佐藤悠太郎 ：痛みの軽減

15:29:59 開始 7 11055 工藤衣里子 ：薬の飲み忘れをなくしたい

15:30:00 開始 12 11038 奈良榮子 ：家屋の段差解消、手すりの設置

15:30:00 開始 1.11002 八柳恵美 ：忘れずに内服する

15:30:01 開始 17 11019 猿田 昌史 ：薬を飲み忘れることがあるので、確実に服用出来るようにしたい。

15:30:01 開始 6 11032 田村和貴 ：薬の飲み忘れをなくす

15:30:02 開始 8 11034芹田好 ：健康状態→

15:30:04 開始 4 11030 藤田千草 ：下肢の筋力低下予防を図る

15:30:05 開始 6 11080 富樫 瑞紀 ：段差の解消

15:30:06 開始 8 11056 渡邉万里奈 ：薬の飲み忘れをしないようにしたい。

15:30:09 開始 2　11062　小林洋平　　：段差を解消し安全に暮らしたい

15:30:10 開始 5 11006 池内ゆかり ：服薬管理

15:30:11 開始 9 11083 村松裕太 ：入浴の困難

15:30:13 開始 19 11071 茂木佳祐 ：健康→服薬忘れをなくし体調を維持したい。

15:30:15 開始 13 11063 太田理佐 ：家に段差が多い。

15:30:17 開始 20 11072 高橋育美 ：自分で失敗しないでように排泄したい。

15:30:18 開始 1 11074下間真奈美 ：薬の飲み忘れをなくしたい

15:30:19 開始 6 11054　大石美貴子 ：服薬管理　段差に対するアプローチ　調理　身体の痛みの改善

15:30:19 開始 15 11041 小野裕人 ：健康状態・・・足のしびれを緩和させたい。

15:30:20 開始 14 11090前野淳子 ：自宅内で転倒しないようにする

15:30:20 開始 1.11002 八柳恵美 ：バランスのとれた食事

15:30:21 開始 19 11045土井令子 ：排泄の失敗をなくしたい

15:30:21 開始 8 11009 小林雄司 ：移動に関しては段差の解消を行う

15:30:21 開始 14 11016小熊菜緒子 ：痛みから内服飲み忘れの問題からの内服コントロール

15:30:22 開始 13 11088　東海林 遼 ：服薬管理、栄養管理、痛みの軽減、段差の解消

15:30:27 開始 3 11076 小松　明美 ：薬の内服管理

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程

15:30:28 開始 5 11006 池内ゆかり ：更衣

15:30:31 開始 16 11018 髙橋沙矢佳 ：またお菓子を作れるようになりたい。友人とハイキングに行きたい。

15:30:34 開始 2 11003吉田桃子 ：自力で安全にトイレに行けるような環境作りをする

15:30:36 開始 20 11047 鈴木大地 ：排泄に失敗しない。排泄のリズムを整える。

15:30:37 開始 14 11090前野淳子 ：段差を解消する

15:30:45 開始 18 11094 鎌田あや子 ：健康状態～ニ-ズ　痛みの軽減、栄養状態、水分摂取の不足BMI

15:30:45 開始 10 11036 佐々木章太 ：居住環境の改善　体調管理

15:30:46 開始 9 11012武石成美 ：段差の解消や手すりの設置で不安なく暮らしたい。

15:30:50 開始 11 11013 松田　奈津子 ：トイレの失敗を心配せずに水分摂取ができる

15:30:52 開始 6 11032 田村和貴 ：調理ができるようになりたい

15:31:00 開始 3 11076 小松　明美 ：家の中の段差が怖い

15:31:03 開始 4 11005　佐藤真実 ：週に数回でも誰かの助けを得ながらでも、調理をする。

15:31:04 開始 5 11078 阿部紘子 ：歩行の不安をなくしたい。段差解消、手すりの取り付け

15:31:05 開始 17 11068 伊藤美鈴 ：薬の飲み忘れをなくしたい

15:31:07 開始 8 11034芹田好 ：段差を解消して不安なく生活したい

15:31:07 開始 2 11051 小林康子 ：自力で安全にトイレに行けるようにスロープや手すりの設置

15:31:08 開始 1 11074下間真奈美 ：栄養バランスの取れた食事がしたい

15:31:09 開始 15 11017 菅原 洋子 ：痛みやしびれによる不便や苦痛を減らして日常生活の不安・不便を減らす。（住宅段差の改善や、確実な内服ができて痛みの調整ができる）

15:31:10 開始 5 11006 池内ゆかり ：バリアフリー

15:31:16 開始 2 11050 浅利綾 ：トイレに行くときふらつくとのことでしたので、自力で安全にトイレに行ける環境作りをしたい

15:31:17 開始 1 11048 佐藤弓子 ：物忘れが多く家事全般が難しい

15:31:24 開始 4 11005　佐藤真実 ：段差を解消し転倒を予防する。

15:31:25 開始 5 11008 近藤誠子 ：入浴は週一で入浴しているので、もう少し入浴する必要がある。

15:31:28 開始 5 11053　佐藤　樹希也 ：段差を解消して自力で移動したい。

15:31:30 開始 8　11010　谷口　貴之 ：健康状態：ご家族の見守りが出来ない曜日は、薬の飲み忘れあり。　カレンダーの作成や日付を一日づつ薬局につけていただけるしてほしいとのニーズが発生。

15:31:33 開始 15 11091 村木香子 ：薬の飲み忘れないように、カレンダーなど利用し、薬を飲めて健康維持ができるようにしたい。

15:31:34 開始 2　11062　小林洋平　：1Wに２回入浴できる

15:31:34 開始 4 11078 西方 大空(にしかた まさひろ) ：健康状態→痛みを緩和する為に薬の飲み忘れをなくす。

15:31:39 開始 1 11027小野幹基 ：バリアフリーの取り組み

15:31:47 開始 3 11029 髙橋義典 ：飲み忘れなく服薬できるようになる。

15:31:54 開始 2 11075　齋藤昭宏 ：手すりを使用してふらつき無くし危険無くトイレに移動し排泄を行いたい

15:31:57 開始 3 11076 小松　明美 ：現状はお風呂が週１。暑くなったらもっと入りたいかも

15:32:04 開始 16 11067 鈴木トミ子 ：お菓子作り・ハイキングに出かけたい

15:32:16 開始 9 11014高杉城子 ：ADLの向上のために、住宅環境(段差の解消、手すりの設置、お風呂場)を整える。

15:32:38 開始 11 11037 斉藤千秋 ：薬の飲み忘れをなくし体調を整えたい

15:32:39 開始 14 11090前野淳子 ：痛みが出ないように過ごせる内服の飲み忘れがないようにし

15:32:46 開始 6 11033夏井陽介 ：ハイキングに行きたいです。

15:32:48 開始 14 11016小熊菜緒子 ：トイレまでの段差、週1回の入浴のみから転倒転落予防のための住宅改修、福祉用具リース、訪問介護等サービスの利用

15:32:59 開始 15 11091 村木香子 ：段差を無くし、福祉用具を利用し安心した日常生活を送りたい。

15:33:06 開始 18 11094 鎌田あや子 ：段差あり、歩行が怖い～段差、手すりなど住環境改善

15:33:10 開始 2 11003吉田桃子 ：糖尿病でも大丈夫な食事をとってもらいたい

15:33:20 開始 8　11010　谷口　貴之 ：ADL:ご本人から起き上がり・立ち上がりに問題があるとの訴えあり。ご家族が、通院に行くことが出来ているが、買い物や散歩の際、迷うことがある

15:33:31 開始 14　11065　佐々木芳春 ：ADLの課題として、住宅の改修・福祉用具レンタル

15:33:42 開始 9 11014高杉城子 ：薬の飲み忘れをなくし痛くない生活をしたい。

15:33:55 開始 19 11095 佐藤律子 ：痛みやしびれがなく体調を維持したい。廃sつの失敗をなくして清潔でいたい。　福祉用具のレンタルにて対応する。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程

15:34:10 開始 12 11087 安保佐誉子 ：この家で暮らしていきたいという希望のために、段差の解消や手すりをつけたりする。

15:34:18 開始 17 11043 野田香緒里 ：長女さん、土日たまには休みたい（だろうな～）。

15:34:23 開始 事務局 ：21G（会場）

困りごと。薬の飲み忘れがある　浴室まで段差がある　ニーズ。　お薬カレンダーを使用する。長女に服薬したかTELで確認してもらう。

15:35:42 開始 1 11048 佐藤弓子 ：夫は家事をしたことがないため、長女の負担が多い

15:35:45 開始 11 11086　田口 裕美子 ：・痛みの軽減・バランスの取れた食事・水分摂取・段差のリスク軽減・認知機能の低下防止・閉じこもり防止・長女氏が訪問できない期間の見守り

15:36:02 開始 8　11010　谷口　貴之 ：ADLニーズ：生活援助や身体援助を組み入れた訪問サービスや住宅改修でニーズに対応したい。金銭管理・買い物を夫に主導権があり栄養面で心配あり。援助のニーズがありそうだ

15:36:12 開始 10　11064 伊藤加奈恵 ：疼痛コントロール　服薬管理　健康管理　住環境を整える　食事管理　　清潔保持　社会との交流

15:36:14 開始 20 11047　鈴木大地 ：排泄リズムを整え、排泄の失敗をなくしたい。

15:37:09 開始 12 11035 土田泰大 ：家屋内に段差が多く、移動面に不安があるため（入浴、排泄含め）見守りを必要としている。本人としても、歩行時のふらつきを気にしている。娘も家屋構造に対する危険を認識している。移動においては家屋構造に課題があり、段差解消等が必要と考えられる。

15:37:10 開始 9 11014高杉城子 ：居住環境が整え、大好きなこの家で夫婦二人でいつまでも暮らしたい。

15:38:12 開始 事務局 ：23G（会場）

利用者：疼痛コントロール　　家族：環境調整

意見：脱水　泌尿器系疾患の出現リスク上昇

15:38:13 開始 8　11010　谷口　貴之 ：IADL:料理が得意だったが、足腰が思わしくないこともあり出来ないでいる。現在は、掃除・洗濯は長女が出来ているが先のことを考えると不安。

15:40:01 開始 事務局 ：24G（会場）

薬の飲み忘れ　段差の解消　調理したい　不安、痛みをなくしたい

外出したい、教え子に会いたい　　ハイキングに行きたい

他の人と一緒のフロはイヤ

15:40:09 開始 8　11010　谷口　貴之 ：　IADL：昔、好きだったお菓子づくりができるようにヘルパーサービスを利用しつつ、再びできるようになりたい。そのために

15:40:19 開始 事務局 ：22G（会場）

薬の飲み忘れ　　段差の解消

調理したい　　不安、痛みをなくしたい

外出したい、教え子に会いたい　　ハイキングに行きたい

他の人と一緒のフロはイヤ

15:44:15 開始 8　11010　谷口　貴之 ：IADLニーズ：長女が掃除・洗濯も自分で洗濯物をたためるようになってほしいとのニーズ・課題（２人で行いたい）があってもよいと思う。

15:45:10 開始 8　11010　谷口　貴之 ：IADL:買い物がしたいが、夫が金銭管理をしているため出来ないとの切り口もあると思う

15:50:17 開始 事務局 ：16：00に再開します。

15:58:23 開始 4 11078 西方 大空(にしかた まさひろ) ：先程先生からいろいろな角度からの気づきを上げていただきましたが、私自身は気づくのが苦手です。普段から気づきに対して意識する以外で先生が心掛けていることがあれば教えていただきたいです。

15:58:43 開始 20 11047　鈴木大地 ：”アセスメントは協働作業”であることを忘れてしまいそうです。

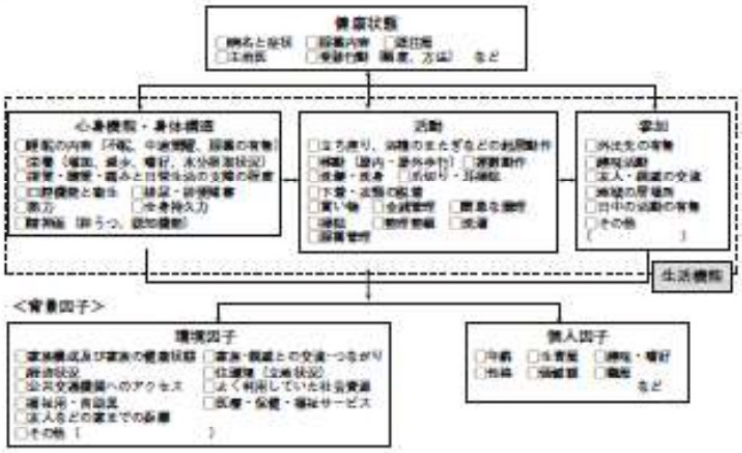
16:04:33 開始 4 11078 西方 大空(にしかた まさひろ) ：気づいたことを言葉にする段階まではいけてなかったのでこれからはそこを意識していければなと思います。

16:04:44 開始 4 11078 西方 大空(にしかた まさひろ) ：お答えいただきありがとうございました。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

ICFによる情報整理分析シート



分析
- 分けて　ICFモデル：６つの箱
- 比べる　どんな影響？繋がり探し。

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

ICF：国際生活機能分類
―人が生きることの全体像についての共通言語―

- 世界保健機関（WHO）
International Classification of
Functioning,Disability and Health
ICFは「生活機能」に問題のある人を全体的にとらえ、整理するのに適
した枠組み

専門家と当事者（利用者本人、家族等）との「共通言語」となるもの
共通のものの見方、とらえ方
国際障害分類の改訂版
障害というマイナス面の用語だった

- 「生活機能」とは、人が「生きる」ことの3つのレベル（心身機能・身体構造、活動、参加の3階層のすべてを含む

- 疾患にかわる健康状態とは、病気や怪我だけでなく、高齢、妊娠、ストレス等、人が生きるのに影響を及ぼすすべてのものを含む概念になった

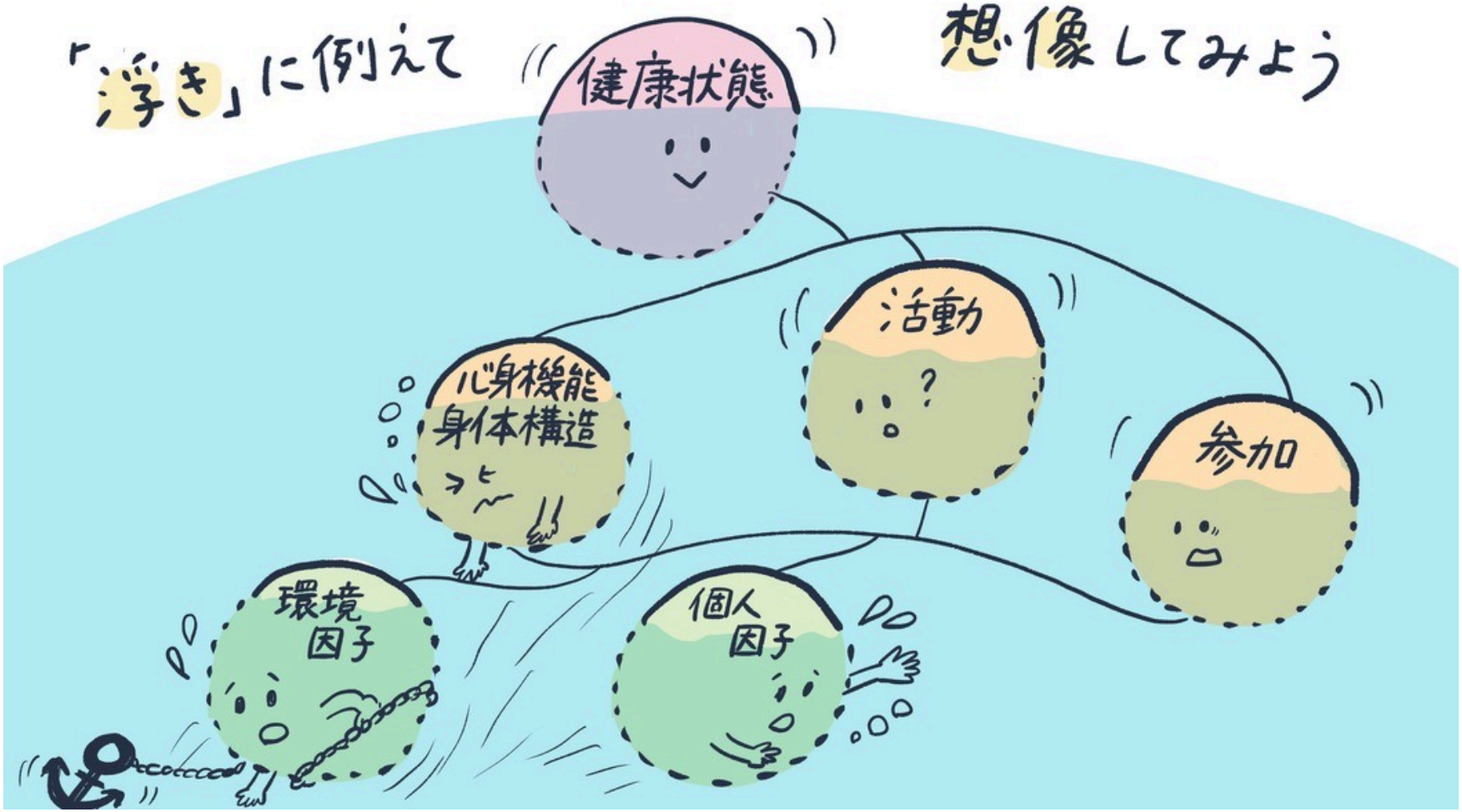
- マイナス面だけでなく、生活機能というプラス面をもみていく

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

補助線

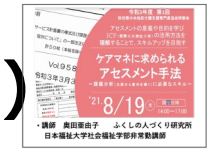
ICFは影響し合っている

「浮き」に例えて想像してみよう



© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）



活動　⇔　ニーズにつながる

能力評価 → 実行状況 → 目標：生活課題

できる

している

する

していない

できない

環境因子・個人因子を活用し、
具体的なケアプランを作成

補助線

解決すべき課題を探るための情報分析

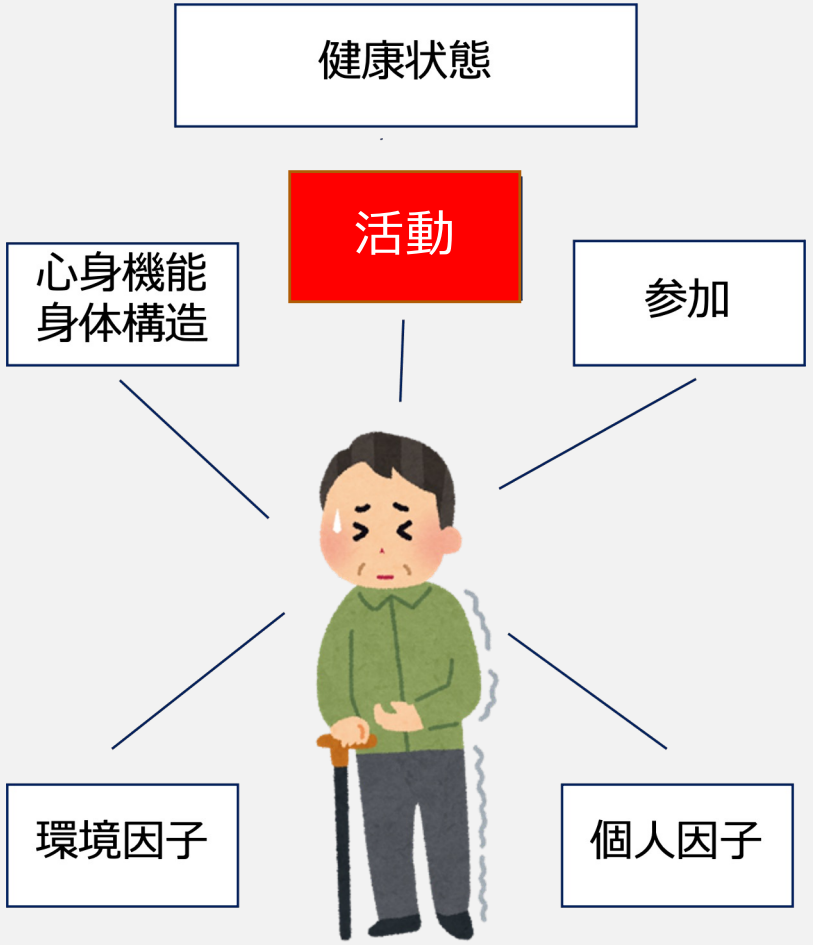
「活動」の能力評価

【**できる活動**：能力（潜在能力）】

・・できる　　・・できない

【**している活動**：現状（実行状況）】

・・している　　・・していない



「歩ける」と「歩いている」の違い

生活のデザイン
１メートル歩けるようになって生活がどう変わる。
めっちゃわかりやすい説明ありがとうございました！
ICFの考え方、解釈、勉強になりました。
ICFの見方が変わったような気がします！
「生活のデザイン」という言葉、とても分かりやすく自立支援の考え方が、とてもポジティブになりました。
生活のデザインのために心身、活動、参加などのピースが必要なんですね。とても参考になります。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

心身機能・構造	活動	参加
▼	▼	▼
生物レベル 「生命レベル」	個人レベル 「生活レベル」	社会レベル 「人生レベル」
▼	▼	▼
手足の動き 精神の動き 視覚、聴覚 手足の一部 心臓の一部（弁）	日常生活動作（ADL) 手段的日常生活動作（IADL) 余暇活動 **「能力の評価」**	社会参加 仕事ができる 主婦の役割 地域活動に参加 政治活動に参加

【できる活動：能力（潜在能力）】
【している活動：現状（実行状況）】

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

環境因子の理解

① 環境と相互作用の調整

② ストレングスの視点

- 利用者本人の内的資源と環境の持つ強み

③ ストレングスの活用

- 困っている状況を改善するための促進要因となる

（本人の意欲を引き出すものとなる等）

④ 本人らしさ

- それまで大切にしてきた暮らしや自律した生活

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

環境因子	個人因子
▼	▼
物的環境 福祉用具、支援機器や住宅	性別、年齢。民族、 ライフスタイル等
人的環境 家族・介護者 友人・知人との関わり	職歴、性格、好み等
制度的環境 社会の制度や態度、 法制度、行政や各種のサービス （介護、医療、福祉など）	生活歴、生活の中の楽しみ、 大切にしたい価値観など

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

16:09:58 開始 男鹿市　佐藤哲彦 ：ICF----------

16:12:55 開始 5 11008 近藤誠子 ：麻痺

16:12:56 開始 11 11037 斉藤千秋 ：言語障害

16:12:57 開始 4 11030 藤田千草 ：麻痺

16:12:57 開始 4 11005　佐藤真実 ：麻痺、構音障害、高次脳機能障害、

16:12:57 開始 16 11018 髙橋沙矢佳 ：麻痺

16:12:58 開始 9 11057 柴田 健 ：上手く言葉が出てこない

16:13:02 開始 6 11032 田村和貴 ：麻痺

16:13:03 開始 8 11034芹田好 ：麻痺、失語、嚥下機能低下

16:13:08 開始 19 11045土井令子 ：麻痺

16:13:11 開始 14 11090前野淳子 ：麻痺・認知機能障害

16:13:15 開始 12 11035 土田泰大 ：片麻痺、感覚障害、高次脳機能障害

16:13:15 開始 16 11042 三浦達彦 ：麻痺や障害

16:13:19 開始 18 11044 茂木睦美 ：麻痺や発語等の障害

16:13:20 開始 12 11087 安保佐誉子 ：麻痺

16:13:22 開始 2 11050 浅利綾 ：麻痺

16:13:22 開始 4 11052 佐藤 恵太 ：片麻痺や認知機能の変化

16:13:22 開始 6 11054　大石美貴子 ：麻痺　失望　不安

16:13:23 開始 20 11025高貝はるな ：仕事が出来ない

16:13:24 開始 3 11076 小松　明美 ：上手く動けない。落ち込む

16:13:25 開始 2 11051 小林康子 ：言語障害、麻痺

16:13:29 開始 18 11094 鎌田あや子 ：活動の低下の恐れ

16:13:31 開始 5 11008 近藤誠子 ：感情の制御難しいかも

16:13:32 開始 17 11019 猿田 昌史 ：今まで出来たことが出来なくなったことへの喪失感

16:13:36 開始 12 11038 奈良榮子 ：麻痺、言語障害

16:13:37 開始 14 11016小熊菜緒子 ：麻痺　失語　心身喪失

16:13:42 開始 19 11071 茂木佳祐 ：想いを表現できない。

16:13:47 開始 15 11017 菅原 洋子 ：言語障害、麻痺、仕事がこれまでのようにできない

16:13:50 開始 8 11009 小林雄司 ：麻痺、高次機能障害

16:13:50 開始 7 11055 工藤衣里子 ：高次脳機能障害

16:13:53 開始 4 11030 藤田千草 ：　麻痺　感覚障害　失語　高次脳機能障害

16:13:55 開始 4 11078 西方 大空(にしかた まさひろ) ：麻痺、言語障害

16:13:56 開始 9 11012武石成美 ：言葉が出なかったり、麻痺が残ったりする。

16:13:56 開始 8　11010　谷口　貴之 ：心臓への負担が大きく虚血性の発作が出る

16:13:57 開始 20 11072 高橋育美 ：運動麻痺、高次脳機能障害、嚥下障害

16:14:07 開始 2 11003吉田桃子 ：やる気の喪失

16:14:10 開始 5 11008 近藤誠子 ：動きずらい

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

16:14:21 開始 9 11014高杉城子 ：制限される

16:14:32 開始 11 11037 斉藤千秋 ：麻痺により歩行できない、言語障害によりコミュニケーションがとりにくい

16:14:35 開始 16 11067 鈴木トミ子 ：行動制限

16:14:38 開始 7 11081田村大樹 ：移動能力の低下。

16:14:39 開始 14 11016小熊菜緒子 ：外出の制限　躊躇してしまう

16:14:40 開始 5 11008 近藤誠子 ：嚥下機能低下

16:14:43 開始 15 11041 小野裕人 ：社会参加ができない

16:14:48 開始 10　11064 伊藤加奈恵 ：ADLの低下　介護が必要

16:14:51 開始 15 11091 村木香子 ：自分で出来ていたことができなくなる。

16:14:57 開始 6　11033夏井陽介 ：移動の制限

16:14:58 開始 7 11055 工藤衣里子 ：ADLの低下

16:14:59 開始 20 11047　鈴木大地 ：外出できない。社会参加できない。閉じこもりがちになる。

16:15:10 開始 7　11031　白川鏡子 ：手足のしびれがあるかもと思います。

16:15:13 開始 11 11013 松田　奈津子 ：意欲低下

16:15:14 開始 12 11035 土田泰大 ：移動能力低下、トイレ動作困難、入浴動作困難

16:15:15 開始 9 11014高杉城子 ：運転していた？

16:15:15 開始 18 11044 茂木睦美 ：身体機能上の不安や見られたくない・・・などで外出しにくくなりそう

16:15:30 開始 8　11010　谷口　貴之 ：歩行の制限、感情が安定せずBPSDの症状がでやすい

16:15:34 開始 17　11093　渡辺和樹 ：自由に外出ができなくなる

16:15:36 開始 5 11008 近藤誠子 ：外出できない

16:15:43 開始 4 11005　佐藤真実 ：家事ができなくなる

16:15:44 開始 8 11034芹田好 ：仕事の復帰ができない可能性がある

16:15:45 開始 12 11035 土田泰大 ：復職困難、趣味活動困難

16:15:46 開始 16 11042 三浦達彦 ：講義ができなくなる

16:15:50 開始 8　11010　谷口　貴之 ：活動の制限、精神的に安定しない。

16:15:51 開始 7 11081田村大樹 ：買い物ができない。

16:15:52 開始 14 11016小熊菜緒子 ：家族からみた自分の役割

16:15:56 開始 20 11072 高橋育美 ：仕事ができない、家庭での役割が変化する

16:15:58 開始 10 11036 佐々木章太 ：トイレに自由に行くことが難しくなる

16:16:10 開始 8　11010　谷口　貴之 ：役割の喪失感

16:16:16 開始 17　11093　渡辺和樹 ：以前と同様な生活ができなくなる

16:16:19 開始 17 11043 野田香緒里 ：外出しにくい。住み慣れた環境が住みにくくなる。

16:16:27 開始 18　11094 鎌田あや子 ：社会的や家庭での役割の低下や制限の恐れ

16:16:34 開始 18 11044 茂木睦美 ：仕事ができない。家族や友達と集まりにくくなる

16:16:35 開始 20 11047　鈴木大地 ：日常生活を送れない

16:16:36 開始 19 11071 茂木佳祐 ：周りからの見た目。移動方法とか歩き方とか。

16:16:45 開始 9 11014高杉城子 ：周りの人たちも変化するかも

16:19:46 開始 8　11010　谷口　貴之 ：生活機能でできることを探すと共に住宅環境の整備を進め心身機能の安定をはかる。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

ICF----------

16:52:49 開始 6 11032 田村和貴 ：社会とのかかわりを持ち自宅での生活を続ける。

16:52:50 開始 9 11083 村松裕太 ：本人の意向　お父さんとこの家で暮らしていきたい

16:53:16 開始 5 11078 阿部紘子 ：自宅で夫との暮らしを続けたい

16:53:28 開始 5 11008 近藤誠子 ：望む暮らしは住み慣れた自宅で料理や趣味を楽しみながら安全な暮らしをしたい。

16:53:29 開始 7 11055 工藤衣里子 ：住み慣れた地域で大好きな家で夫と穏やかに暮らしたい。

16:53:29 開始 11 11086　田口 裕美子 ：お父さんと自宅での生活を継続したい

16:53:34 開始 11 11037 斉藤千秋 ：利用者の望む暮らし→ずっとこの家で暮らしたい

16:53:37 開始 2 11050 浅利綾 ：自宅でこのまま夫と暮らし、趣味活動を行いたい

16:53:43 開始 20 11047 鈴木大地 ：花子さん：住み慣れた自宅で夫と過ごす。

16:53:43 開始 14 11016小熊菜緒子 ：自宅で夫との暮らしを続けたい。

16:53:45 開始 11 11013 松田　奈津子 ：望む暮らしは「ずっとこの家で暮らしたい」

16:53:52 開始 2　11062　小林洋平　　：福祉用具の導入、設置で自宅で安全に生活したい。

16:53:55 開始 9 11014高杉城子 ：健康状態の変化、悪化がかなり活動が制限されている。

16:53:56 開始 11 11060 大塚未来 ：家族の支援を受けながら、お父さんとこの家で暮らしたい

16:53:58 開始 8 11009 小林雄司 ：自宅で夫と暮らしたい。菓子作りを再開したい。ハイキングが出来るようになりたい

16:54:00 開始 15 11017 菅原 洋子 ：好きな料理も楽しみながら夫と自宅で生活を続けたい。

16:54:01 開始 4 11005　佐藤真実 ：自宅で好きな料理をしながら穏やかに暮らしたい。

16:54:01 開始 3 11076 小松　明美 ：本人の意向　夫婦２人で穏やかに暮らしたい。

16:54:01 開始 16 11018 髙橋沙矢佳 ：サービスを取り入れながら、住み慣れた自宅で夫との暮らしを続けたい。

16:54:03 開始 18 11044 茂木睦美 ：色々なつながりで考えられるのでチェックポイントシートより考えやすかった。

望む暮らし→住み慣れた家で旦那さんと二人で暮らしたい。

16:54:05 開始 4 11052 佐藤 恵太 ：自宅で夫と暮らしたい

16:54:06 開始 19 11095 佐藤律子 ：趣味のお菓子作りや散歩に出かけたい。

16:54:13 開始 20 11072 高橋育美 ：本人の意向；お父さんとずっとこの住み慣れた家で暮らしていきたい。友達とお散歩したい。お菓子作りしたい。

16:54:20 開始 1 11027小野幹基 ：本人の意向を聞きながら

16:54:21 開始 17 11043 野田香緒里 ：自宅で夫との暮らしを続けたい。趣味のお菓子つくりや散歩にまた出かけたい。

16:54:22 開始 12 11035 土田泰大 ：本人：自宅で暮らし続ける、お菓子作りを再開したい、ハイキングに行きたい　夫：痛い状況を見るのは辛い、本人のいいようにして欲しい　娘：介護保険を使っても楽に生活してほしい

16:54:23 開始 15 11091 村木香子 ：お父さんと一緒に暮らしたい。知人とも交流したい。

16:54:26 開始 17 11019 猿田 昌史 ：参加制約という点で、趣味の友人との散歩が出来なくなり、外出の機会が減った。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメントからニーズを導き出す思考過程（ICF）

16:54:28 開始 9 11012武石成美 ：住み慣れた自宅で夫と2人で穏やかに過ごしたい。

16:54:36 開始 8 11034芹田好 ：自宅で夫との暮らしを続けたい。

16:54:37 開始 18　11070 佐藤悠太郎 ：自宅での生活

16:54:39 開始 6 11033夏井陽介 ：夫婦で協力し現在の地域で生活したい。

16:54:40 開始 19 11071 茂木佳祐 ：ニーズまで辿り着きませんでしたー。個人因子→若くして家族を亡くしている。故に旦那さんへの想いが強いのではないか？関係ないけどワークの時間配分も努力しないとな。

16:54:41 開始 3 11076 小松　明美 ：家族の意向　できるだけのことはしたい。

16:54:47 開始 8　11010　谷口　貴之 ：病状を改善し、健康に生活をしたい。転倒の心配なく歩ける。再び趣味活動をしたい

16:54:49 開始 20 11026 三浦　大将 ：望む暮らし

本人　住み慣れた家で夫と暮らす。お菓子づくりしたい、友人とハイキングしたい。

16:54:54 開始 17　11093　渡辺和樹 ：夫と自宅で生活し続け、安心した生活がしたい

16:55:00 開始 16 11067 鈴木トミ子 ：家で穏やかに暮らし好きな料理をしたい。

16:55:04 開始 13 11063 太田理佐 ：自宅での生活を続けつつ地域から孤立することなく周りとの関りを大切にした生活をさせてあげたいです。

16:55:07 開始 16 11042 三浦達彦 ：状況を改善するための促進因子の個人のほうがでてこなかったです。

16:55:07 開始 2 11075　齋藤昭宏 ：家族の協力と福祉サービスを受けながら家族と思い出のある自宅で暮らしを続けていき、地域との関わり趣味を続けていきたい

16:55:35 開始 9 11014高杉城子 ：お父さんが、いろんなことはできないけど痛がっているのを見るのがつらい。と言っているのを大切にしたい。

16:55:48 開始 14 11090前野淳子 ：この家で暮らしたい

16:55:49 開始 20 11072 高橋育美 ：家族の意向；(長女)サービスを利用しながら両親の思っている生活を送って欲しい。できるところは手伝いしたい。(夫)花子さんの望む生活をして欲しい。花子さんの痛みを和らげ欲しい。

16:55:59 開始 12 11038 奈良榮子 ：自宅で夫との暮らしを続けたい

16:56:08 開始 15 11041 小野裕人 ：お父さんとこの家で暮らしたい。料理の続けたい。

16:56:11 開始 6 11054　大石美貴子 ：夫と自宅で暮らし続けたい。身体の痛みがなく、これまで楽しんできた趣味を楽しめる暮らしをしたい。

16:56:18 開始 14 11090前野淳子 ：家は拠り所

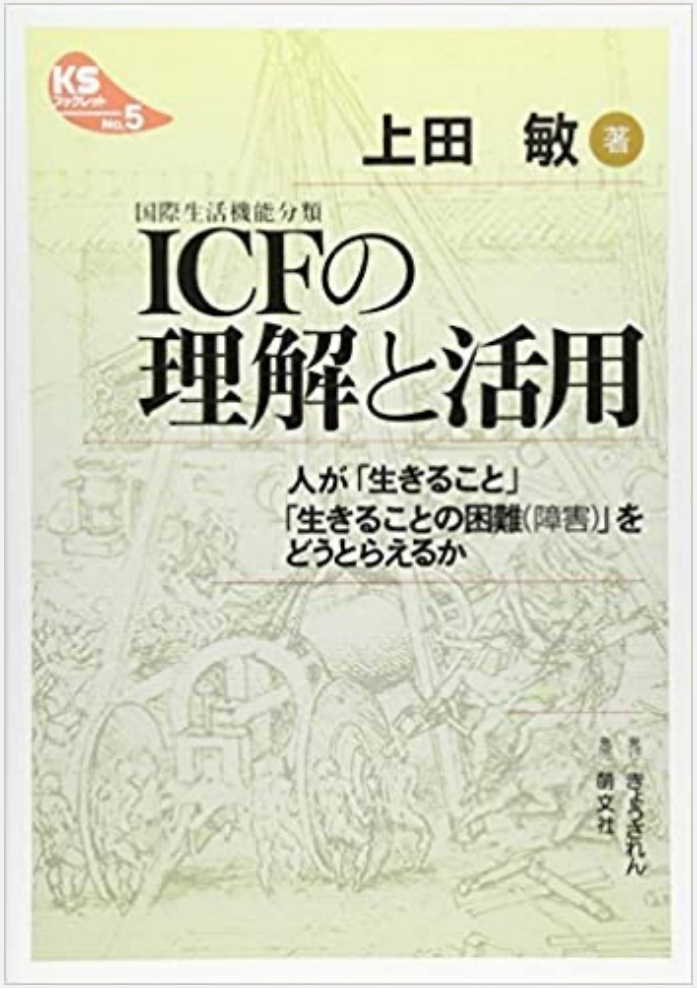
16:56:35 開始 20 11047 鈴木大地 ：家族：住み慣れた自宅でいつまでも過ごせるようにできる限りのサポートをする。

16:57:11 開始 14 11090前野淳子 ：家は安心して暮らせるところ

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

ICFの理解を深めるために。。。

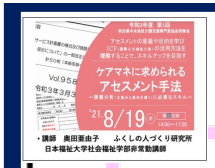
資　料



「新しい障害観であるＩＣＦ（国際生活機能分類）を理解し、それを自分たちの毎日の仕事に生かす」という実践的な立場から、ＩＣＦの基本的な考え方、いかに実際的に活用するかについて解説する

ICFの生活機能モデルに基づいて問題を把握し、個別の目標を設定した上でプログラムを進める目標指向的介護。ICFの理解からICFを活用した介護の実践方法までを具体的に解説。「不自由なことを手伝う」だけでなく、利用者の状態を「よくする介護」が実践できる。

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会



補助線

ケアプラン1表　生活の意向を導くプロセスが重要。

最初の主訴

↓

相談面接

↓

困りごとの
背景・阻害要因
アセスメント

課題分析の結果
（利用者と共に）

↓

生活の意向を
整理する。

第１表

居宅サービス計画書（１）

利用者名　　殿　　生年月日　年　月　日　住所

居宅サービス計画作成者氏名

居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地

居宅サービス計画作成（変更）日　　年　月　日　　初回居宅サー

認定日　年　月　日　　認定の有効期間　年　月　日 ～ 年　月

要介護状態区分	要介護１ ・ 要介護２ ・ 要介護３ ・ 要介護４ ・ 要介護
利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果	
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

資　料

「当初の意向」
＝「主訴」

自立支援に資するケアマネジメントプロセス

- ☑ 第1表の「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」は、当初の意向をそのまま記載するものではありません。
- ☑ アセスメントにより利用者と協働して、現状の生活状況を確認し、利用者・家族の意向を尊重し、信頼関係を築くよう努めながら、利用者の自立を阻害する要因を整理します。
- ☑ 「利用者が感じる困った状況を改善し、望む生活をしたい」と、利用者が主体的・意欲的に取り組めるよう解結すべき課題（ニーズ）を探ります。
- ☑ 課題分析の結果を踏まえて合意形成ができた最終的な本人・家族の意向を記載します。
- ☑ ケアマネジメントプロセスにおける初期面接相談の目的である信頼関係の構築したうえで、利用者・家族と介護支援専門員が一緒に居宅サービス計画書をつくります。
- ☑ 文章表現は、分析結果に寄り過ぎず、本人主体であり、目にした時に違和感を持ち過ぎず前向きに捉えられるように記載します。

出典　介護支援専門員実務研修テキスト七訂（上巻）P84～P85　居宅のケアマネジメントプロセス（一部改変）

©Japan Care Manager Association
© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

資　料

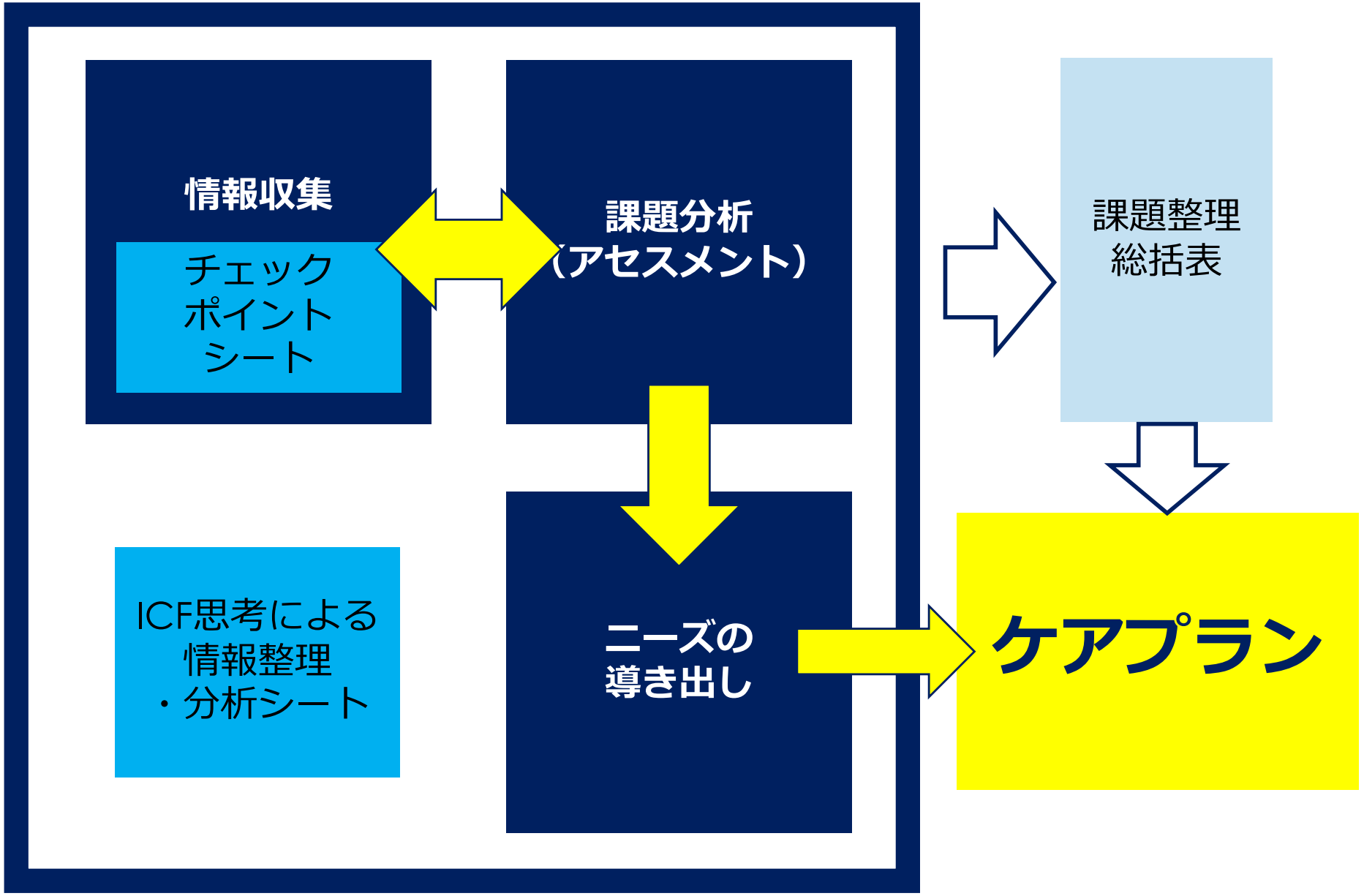
解決すべき課題を探るための情報分析（アセスメント）

分析方法	ポイント
チェックポイントシート	目的：情報整理と生活行為の分解から、誰が何で困っているのかを探る。 困りごと（本人と家族） 専門職の視点（ケアマネ・医療）
ICF思考による情報整理・分析シート	目的：全体像を把握し、背景因子（３つの環境因子と個人因子）から生活機能の阻害因子と促進因子を探る。 活動の能力評価：できる活動・している活動
課題整理総括表	目的：利用者の現在の状態と要介護状態等の改善・維持等の可能性に照らして、課題の抜け漏れを探る。 予想される事後の状況・見通しの明確化

根拠のあるケアプランを立案する上での大切なプロセス

© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会

アセスメント　情報収集 ⇄ 課題分析 → ニーズの導き出し



© ACMA All rights reserved.
秋田県介護支援専門員協会